

小児看護援助論

必修

開講年次：3年次前期

科目区分：演習

単 位：1単位

講義時間：30時間

■**科目のねらい**：小児看護学概論を踏まえ、小児期に多い健康障害の病態、治療法および看護援助の方法について基本的な知識を学修します。

■**到達目標**：①小児の成長発達と健康状態について、正常と異常のアセスメントに必要な知識を修得する。
②小児期に多い疾患について、特有な症状、疾病発生のメカニズム、検査方法および治療法に関する基本的な知識を修得する。
③主な疾患別に看護援助の要点を修得する。看護援助のあり方を、子どもと家族の発達・健康生活への支援の観点から考察できる。

■**担当教員**：【◎は科目責任者】

◎上村 浩太・松浦 和代・三上 智子・川村 信明

■**授業計画・内容**：

- 第1・2回 講義のオリエンテーション／課題提示
小児の身体的苦痛を緩和する援助方法（小児におけるトリアージ、症状マネジメント）
小児の心理的苦痛を緩和する援助方法（接近法、プレバレーション／健康教育）
- 第3回 小児期の主な疾患・治療 ①先天異常 ②新生児疾患（川村）
- 第4回 疾患別看護 ①先天異常 ②新生児疾患
- 第5回 小児期の主な疾患・治療 ③感染症 ④呼吸器疾患（川村）
- 第6回 疾患別看護 ③感染症 ④呼吸器疾患
- 第7回 小児期の主な疾患・治療 ⑤アレルギー・免疫疾患 ⑥予防接種（川村）
- 第8回 疾患別看護 ⑤アレルギー・免疫疾患 ⑥予防接種
- 第9回 小児期の主な疾患・治療 ⑦循環器疾患 ⑧神経・筋疾患（川村）
- 第10回 疾患別看護 ⑦循環器疾患 ⑧神経・筋疾患
- 第11回 小児期の主な疾患・治療 ⑨内分泌・代謝疾患 ⑩腎・泌尿器疾患（川村）
- 第12回 疾患別看護 ⑨内分泌・代謝疾患 ⑩腎・泌尿器疾患
- 第13回 小児期の主な疾患・治療 ⑪血液疾患・腫瘍 ⑫消化器疾患（川村）
- 第14回 疾患別看護 ⑪血液疾患・腫瘍 ⑫消化器疾患
- 第15回 疾患別看護 手術を必要とする疾患と看護

*疾患別看護の時間に、課題に対するグループワークの発表・まとめを行う。

*授業の順番変更や調整の可能性があります。

■**教科書**：『新体系看護学全書 小児看護学①小児看護学概論・小児保健』（メヂカルフレンド社）
『新体系看護学全書 小児看護学②健康障害をもつ小児の看護』（メヂカルフレンド社）

■**参考文献**：『成長障害のマネジメント』（医療ジャーナル社）
『NEW小児科学』改定第2版（南江堂）
『こどもの病気の地図帳』（講談社）

■**成績評価基準と方法**：

評価方法	到達目標			評価基準	評価割合 (%)
	到達目標①	到達目標②	到達目標③		
定期試験	◎	◎	◎	講義内容の理解	75
提出物	○	○	○	グループワークの取り組み・指示された提出物の成果	15
授業態度	○	○	○	授業での積極的な姿勢	10
出席				2/3以上の出席	定期試験 受験資格
e-Learning				自学自習状況の参照	0

◎：より重視する ○：重視する 空欄：評価に加えず

■**関連科目**：人間発達援助論、小児看護学概論、疾病治療学概論、疾病治療学A・B・C、症状マネジメント論

■**その他（学生へのメッセージ・履修上の留意点）**：関連科目の理解を前提とします。子どもと家族の健康生活へのアセスメント力を養い、生活支援の援助方法を学修しましょう。